

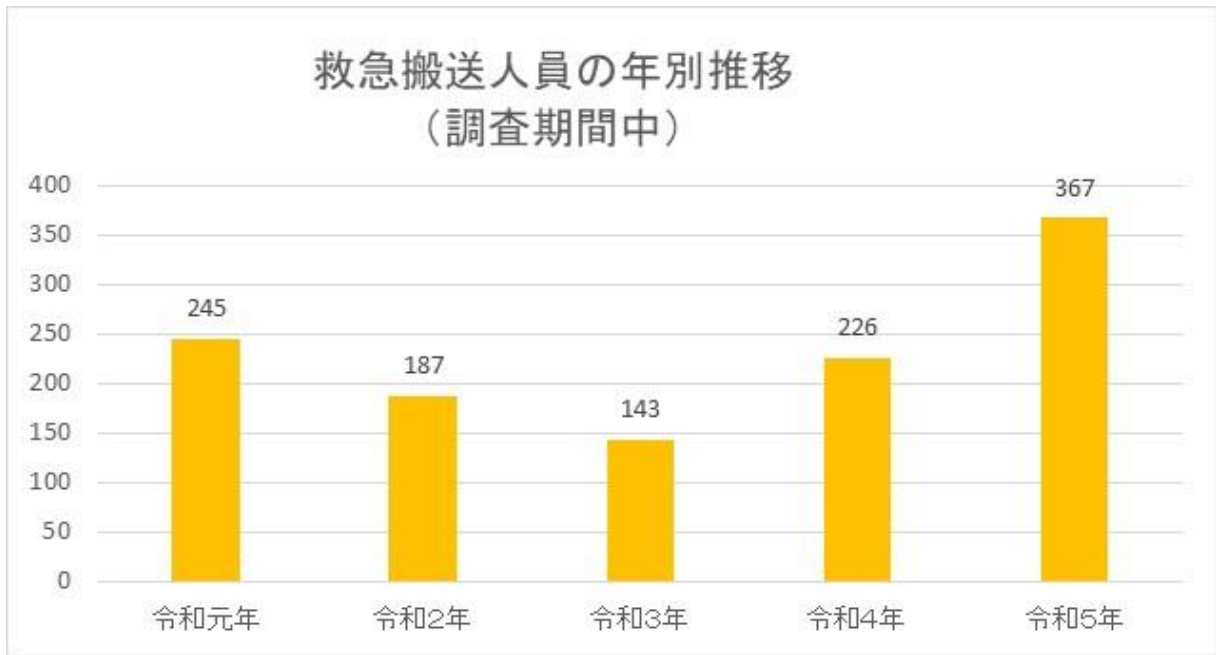
# 令和5年の熱中症による救急搬送状況の概要

※調査期間5月1日(月)から10月1日(日)まで  
(消防庁救急企画室長からの依頼による調査)

令和5年熱中症調査期間中の熱中症による救急搬送状況は、以下のとおりです。

## 1 総数

令和5年熱中症調査期間中の本市における熱中症による救急搬送人員の累計は367人でした。昨年調査期間の226人と比べると141人(62.4%)増となっています。



## 【過去5年の月別搬送人員】

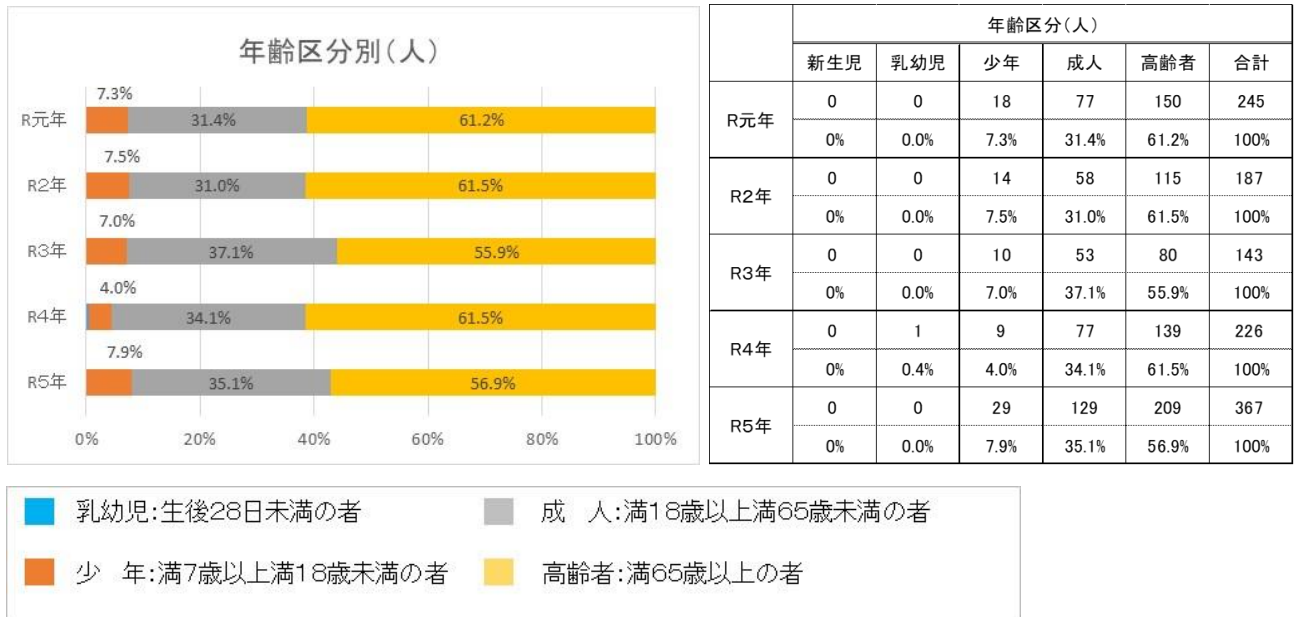
(単位:人)

		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
		搬送人員		搬送人員		搬送人員		搬送人員		搬送人員	
			死亡		死亡		死亡		死亡		死亡
確定値	4月	0	0			1	0	0	0	0	0
	5月	18	0			3	0	6	0	13	0
	6月	11	0	23	0	10	0	55	0	26	0
	7月	60	0	9	0	61	0	91	0	147	0
	8月	133	0	131	0	67	0	65	0	141	0
	9月	22	0	24	0	1	0	9	0	40	0
	10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
搬送人員		245	0	187	0	143	0	226	0	367	0

## 2 内 訳

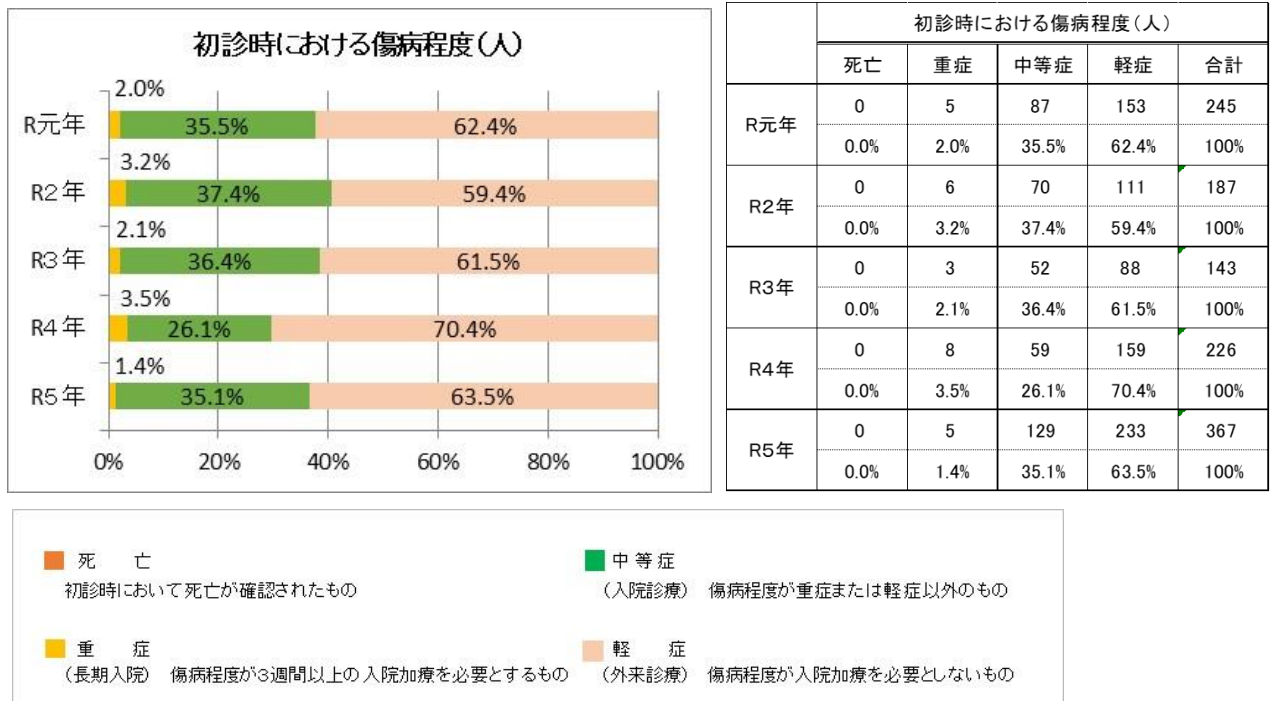
### (1) 年齢区分別の救急搬送人員

高齢者が最も多く、209 人(56.9%)、次いで成人 129 人(35.1%)、少年 29 人(7.9%)の順となっています。



### (2) 医療機関での初診時における傷病程度別の救急搬送人員

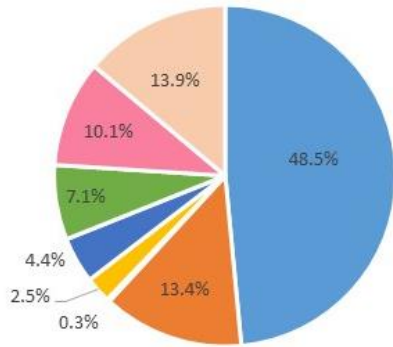
軽症が最も多く 233 人(63.5%)、次いで中等症 129 人(35.1%)、重症 5 人(1.4%)の順となっています。



(3) 発生場所ごとの項目別の救急搬送人員

住居が最も多く 178 人(48.5%)、次いでその他 51 人(13.9%)、仕事場①49 人(13.4%)、道路 37 人(10.1%)、公衆(屋外)26 人(7.1%)の順となっています。

発生場所ごとの項目(構成比)



発生場所(人)								合計
住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	
178	49	1	9	16	26	37	51	367
48.5%	13.4%	0.3%	2.5%	4.4%	7.1%	10.1%	13.9%	100%

- 住居 (敷地内全ての場所を含む)
- 仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)
- 仕事場② (田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
- 教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
- 公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分(劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
- 公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分(競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
- 道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
- その他 (上記に該当しない項目)